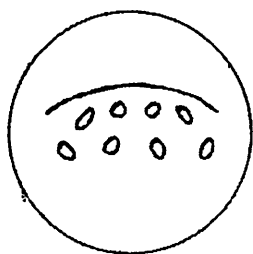


東京蜘蛛談話会誌

# KISHIDAIA

No. 13



東京蜘蛛談話会

東京都日野市豊田1,896 萱嶋泉方

PHONE : 0425 - 81 - 7128

## キシダイア一年間の歩み

萱 嶋 泉

東京クモ談話会の機関紙キシダイアを発行して一年になる。毎月一回の会合を持つているこの会で、いろいろと話されたことを、何かの形ちで残したいと言う気持で、作り始めたのがこのキシダイアである。キシダイアと言う紙名は岸田久吉先生を記念してつけたもので、この岸田久吉先生の立派な業績に対して恥じないものに育てなければならないと思つている。談話会のレギュラーメンバーは、10名ばかりであるが、御蔭様で全員熱心な研究者ばかりであるから、回を重ねるごとに立派なものになると思う。岸田久吉先生の遺稿を載せることも、せねはならない仕事である。

編集の方法も全員の責任で、一人づつ順をきめて行つている。その人の番いが出てなかなか面白い機関紙が出来上つている。

一年目の13号には松本、大河内、新海の三人の新進気鋭の若人が、ニュージーランドのクモについて詳細な記載をすることになつている。

このクモは先年来日されたマーブレス氏が私に送つて下さつたものであるが、クモの記載の手はじめとしてこの若い人々にして頂いたのである。今後もこの機関紙には、この様な世界の各地で採集されたクモを記載したいと思う。このキシダイアの性質として、新種の発表などはしないつもりである。会員が何を考え、何をしているかが、お互に理解出来るように、この機関紙を大いに利用することが最大の目的で、これがはたされた時、必ず岸田久吉先生も喜んでくれるものと思うのである。さらに今年からは、手近に棲息していながら、同定をあやまつたり、同定しにくかつたりするクモを、皆で研究し、その結果をこのキシダイアに載せて、はつきりとしたものにしたいと言う試みが、なされるようになった。誠に結構なことで、どうしてもせねばならないことと思う。これが少しづつ進むことにより、どれだけ初学者に役に立つかわからない。やはり研究する者が増加すると言うことがいかに大切であるかが、この一つことでもわかるのである。あれこれ思いをめぐらす時、全くキシダイアと将来は夢が多く、また楽しさのいつばいあふれた機関紙と言えらると思うのである。

### ニュージーランドのクモ3種

新海 栄一 大河内 哲二 松本 誠治

1966年夏に東京で開かれた太平洋学術会議にニュージーランドから参加されたクモ学者B. J. Marples博士が日本滞在中のお礼に萱嶋博士に送られたクモ3種を紹介する。この仕事は談話会が創設され、初めて行われたものである。ニュージーランドのクモは"SPIDERS OF NEW ZEALAND, Part 1~4"として出版されつつあるが、今後の御発展を期待しています。又、標本をお送り下されたMarples博士、記載の機会を与えられた萱嶋泉博士に感謝いたします。

KISHIDAIA, No. 13, 1970, 1

1, *Porrhothele antipodiana* (WALOKENAER) 1837

(Family DIPLURIDAE)

新 海 栄 一

〔測 定〕

♂、体長 17.1 mm · 頭胸部 8.8 mm · 同幅 7.8 mm · 腹部 8.1 mm · 同幅 6.3 mm

	Total	Fem	Pat + Tib	Metatar	Tar
Palp	9.5	3.7	4.5	/	1.3
Leg 1	21.3	6.1	8.0	5.0	2.2
Leg 2	22.0	5.9	7.9	5.0	3.2
Leg 3	23.2	6.0	7.6	5.9	3.7
Leg 4	26.5	6.8	8.9	7.0	3.8

〔形 態〕 6

頭胸部は長さ>幅、第2歩脚間で最広、背甲なだらかに隆起し頸溝、放射溝は明瞭、中窩は横向きで深い、背甲周縁には長毛を列生する。眼は2列で兩列眼共に後曲、中眼域は長さ>幅、前辺<後辺で前側眼最大・後中眼最小。額は狭く前中眼径とはほぼ同長、前縁に長毛有す。上顎は前方に突出し前牙提には11歯有り、後牙提の位置には長毛が列生している。下顎は細長く内縁は逆八字状で毛束がある。下唇は可動でわずかに長さ<幅、胸板との間に溝を有す。下顎、下唇共表面には長毛と小さな棍棒状突起を多数生ずる (G. CHAMBERLAINはSpineとしている)。歩脚は4対共強大で特に第1脚脛節は異状に太く強大で下面には多数の針と爪状突起を有し、關節はキチン化しくの字形に湾曲している。触肢は先端部切断状になり真中はへこんでいる。触肢器管は杯葉(跗節)・生殖球・栓子からなり栓子は彎曲した剣状でその先端は鋭くとがつている。胸板は小さく長さ>幅、第2歩脚間で最広、第4歩脚間には挿入しない。一面に長毛が散在している。腹部は楕円形で寄肺2対、糸疣2対で前疣は単節で小形(1.2 mm)後疣は3節よりなつており長大である(6.5 mm)背面下面共長毛が密生する。

〔色 彩〕

頭胸部褐色であるが周縁部はやや薄い、黄褐色の長短毛を周縁に列生し、背甲には短毛のみを生じる。上顎は黒色で背面には褐色の長毛を列生し、側方には同色の短毛を列生する。牙は黒色。胸板、下顎、下唇は一様に褐色で、下顎内縁の毛束及び胸板、下顎、下唇に散在している長毛はすべて黄褐色である。歩脚は第2・3・4脚は褐色であるが、第1歩脚のみ黒褐色、触肢は褐色であるが先端の生殖球及び栓子は黒色である。全歩脚と触肢には長短毛が密生している。腹部は黒褐色の他に黄褐色の長毛が密生、糸疣は前疣は黄色、後疣は黄褐色であり両疣共同色の長毛が密生している。

## 〔測 定〕(mm)

頭胸部：長さ 8.1 幅 6.8 腹部：長さ 11.2 幅 7.6

Leg	Fem	Pat	Tib	Mettar	Tar
I	6.0	3.2	3.8	3.1	3.0
II	5.1	3.1	3.2	3.2	2.8
III	4.1	3.0	2.8	2.8	2.8
IV	5.5	3.8	4.8	5.0	3.2

## 〔形 態〕

頭胸部長は幅の約 $\frac{3}{4}$ 倍、第2脚間で最広、頭部は胸部よりやや狭く、先端近くで両側ほぼ平行、眼域後方中窩前方が高い、中窩は横向きでやや深い、頸溝及び放射溝は明瞭、中窩より前方に向つて中央に一の刺がある。額は前方に突出する。8眼2列で前、後列はほぼ同長、前列は強く前曲、後列はやや強く後曲する。後列中眼が最小で前側眼間は前側眼直径のほぼ2倍、前列中眼間は中眼の直径と半径の間、後列中眼間は直径の約2倍、後列側眼中眼間は中眼半径とほぼ同じ、眼域の長さは幅の $\frac{2}{3}$ で後中眼は昼行眼、他は夜行眼で、全眼ともまわりは濃い黒褐色である。上顎は良く発達し、前方に突出し、まくわを有する。牙提歯は前縁に7、後縁に8で前縁の前方より5番目と7番目が小さく5番目は内側にある。後縁は7番目が小さい、下顎は触肢基部となつており、下唇は扇状で胸板との間に溝を有す、触肢は2爪で2歯を有す、跗節には毛束がある。胸板はほぼ卵形で、長さ>幅後方の幅がやや広い、前縁は弧を描き、後方は第4脚基節にははいらぬ。歩脚は4 1 2 3、各脚とも叢毛をもつが、毛のない縦糸が第1、第2脚は跗節まで、第3、第4脚は膝節までである。第1、第2脚の跗節、蹠節に毛束がある。3爪で上爪に3本の歯がある。腹部は長卵形で頭胸部より高く長い、糸疣は2対で後疣は前疣の3.5倍。

## 〔色 彩〕(液 浸)

頭胸部は赤褐色で縁は黒色が強い。中窩は黒色、頸溝及び放射溝に沿つて白色毛がある。上顎は頭胸部より濃い、下顎下唇は頭胸部と同色、胸板は腹部近くになつてうすくなる。腹部背面は黒褐色で後方側面にかけて黄褐色となり、黒褐色の鹿の子まだらがある。腹部背面の数対の黄褐色の紋は液浸で見えるが、明瞭でない。腹部下面は黄褐色で前糸疣から生殖門にかけて黒褐色が広がる。歩脚は赤褐色で輪紋なく、黒色毛を有する。

3. *Hexathele hochstetteri* AUSSERER, 1871 (Fam. Dipluridae)

松本誠治

〔測定〕(mm)

体長: 17 頭胸部: 長さ 7 幅 5.9 腹部: 長さ 8.8 幅 6

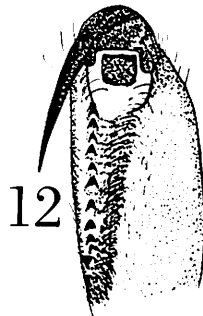
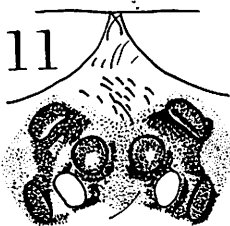
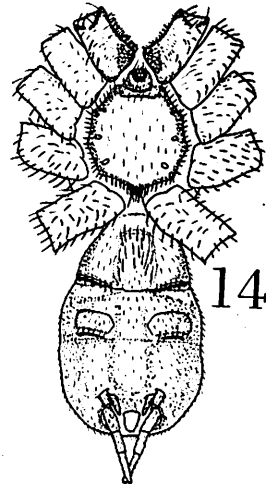
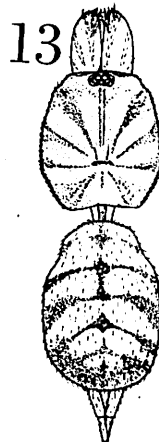
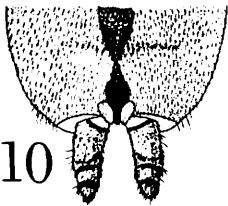
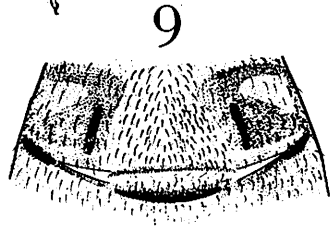
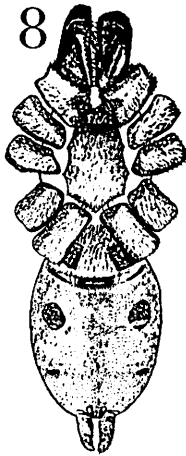
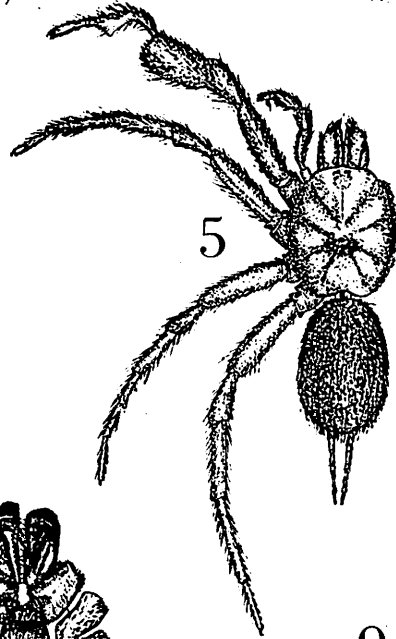
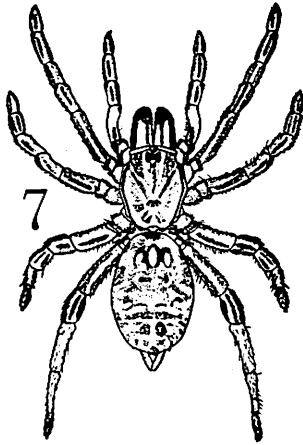
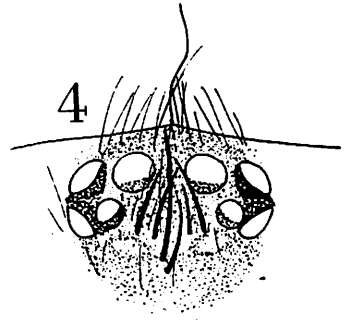
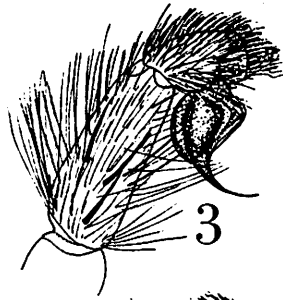
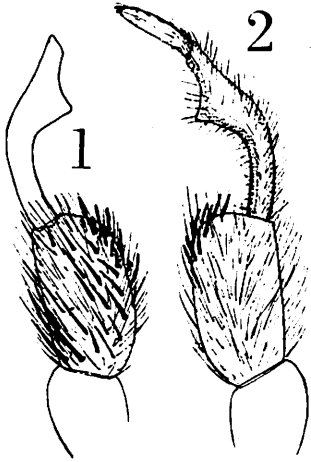
	Fem	Pat	Tib	Metatar	Tar
触肢	4	2.2	2.9	—	2.8
1st	5	3.2	3.7	4	2.5
2nd	4.6	3.2	3.5	4	2.5
3rd	5	3	3.6	4.5	2.8
4th	6	3.2	5	6.2	3.5

〔形態〕

頭胸部は第二、三脚間で最も広い。中窩は横向きで、台形状にくぼむ。頸溝、放射溝共に明瞭。頭部は高く、錐状になり、眼はその頂点に位置する。直眼は円形で、間眼は楕円形をなし、側眼列は外曲〔〕( )する。前眼列は上方からも、前方からも前曲であるが、前曲度は、前方からの方が強い。上顎は前方に突出し、頭胸部長のほぼ $\frac{1}{2}$ を呈す。内牙提に大きな歯が並び、外牙提には長毛列が在る。又、牙提間にも、奥の方に小さな歯が不規則に存在する。下唇は、前辺が後辺より短く、長さがわずかに勝る。下顎はあまり発達していない。下唇前方及び下顎内後方に、棍棒状の突起が多数発達している。胸板には、第一・二・三脚基節近くに無毛個所がある。歩脚は第四脚最長で、他は同長。全歩脚、三爪を有し、三爪共に歯を持つ。第三脚までは前方を向く、腹部は長卵形で、4肺、6糸疣で、気管気門は無い。中疣は1節より、前疣は2節より、後疣は3節より成る。付属肢及び腹部には長毛が密生する(ただし、上顎は列生)。頭胸部には、頭部正中部及び頸溝、放射溝、中窩のまわりに短毛が、まばらに列生する。

〔色彩〕

付属肢、頭胸部共に褐色で、濃度は、頭部、付属肢、胸部の順にうすくなる。頭胸部背面及び上顎には、光沢がある。胸板、下唇は付属肢と同色。頸溝、放射溝、中窩は、頭部と同色。腹部背面は、紫褐色の地に、淡褐色の対斑が5つ並ぶ。腹部下面は淡褐色。



## 図 版 説 明

- |                                   |                 |
|-----------------------------------|-----------------|
| 1. <i>Porrhothele antipodiana</i> | 第1脚脛節内面         |
| 2.                                | 第1脚脛節外面         |
| 3.                                | 触肢              |
| 4.                                | 眼域              |
| 5.                                | 雄の背面            |
| 6.                                | 雄の腹面            |
| 7. <i>Cantuaria</i> sp.           | 雌の背面            |
| 8.                                | 雌の腹面            |
| 9.                                | 外雌器             |
| 10.                               | 糸疣              |
| 11.                               | 眼域              |
| 12. <i>Hexathele hochstetteri</i> | 上顎(左上顎を外下方よりみる) |
| 13.                               | 背面              |
| 14.                               | 腹面              |

## クモの記事(3)

松本 誠 治

加藤 正 世 著  
セミ博士の博物誌  
昭和38年7月10日  
雪 華 社

クモ夫婦のはなしと題して、交接のことを中心に、3ページほどであるが書かれている。コガネグモ、オニグモ、ジヨロウグモ、オオヒメグモの名が出てくる。写真撮影の名人を証明するような美しい写真が多数載っている。

KISHIDAIA. №13. 1970, 1

朝日新聞社編  
化石は生きていた  
昭和38年11月20日  
朝日新聞社

前回の「身近な動物たち」と同様、新聞に掲載されたものを単行本としたもので「キムラグモ」が出ている。発見者・木村有香博士、命名者・岸田先生、キムラグモの発生を研究された吉倉先生の名と共に、キムラグモについての形

態・生態などが簡単ではあるが紹介されている。その他近縁なもので、カブトガニの記事もある。

永野為武著  
さまざまな視覚の世界  
昭和41年7月30日  
新潮社

ミドリムシから人間までの視覚について、とても参考になる。「節足動物の視力」というところに2ページ分を使つてクモの視力について、造網性と徘徊性では、その視力に差のあろうことを示唆しているが、その形態視の能力の絶望

的なことを構造から考えて述べている。方法論にまで言及しており、又、観念論的に書かれている場所もあり、読み物としてもおもしろく読める本である。

共著  
動物と共に  
昭和41年10月20日  
学生社

6名の動物学者によつて著わされた随筆中、内田亨先生の部分に、「蜘蛛の舞蹈」と題してハニトリグモのことが書かれている。その他デイズニーの映画にあつたサソリのダンスのことも紹介されている。

KISHIDAIA №13

1970年1月9日印刷

1970年1月10日発行

東京蜘蛛談話会

▽ 191 東京都日野市豊田1896

查 嶋 泉 方

PHONE 0425(8)7128